PRESS RELEASE

2024年10月8日
株式会社新日本科学
https://www.snbl.co.jp
（証券コード:2395　東証プライム）

米国子会社Satsuma社の経鼻偏頭痛薬STS101臨床試験成果が国際医学専門誌 *CNS Drugs* に掲載されました

株式会社新日本科学（本社 鹿児島県鹿児島市、代表取締役会長兼社長：永田良一、以下「当社」）の連結子会社 Satsuma Pharmaceuticals, Inc.（本社 米国ノースキャロライナ州ダーラム市、以下「Satsuma社」）が開発する経鼻偏頭痛薬（開発コード：STS101）のASCEND第３相臨床試験成果に基づく科学論文が、中枢神経疾患の薬物療法に関する国際医学専門誌 *CNS Drugs*（*ジャーナル・インパクトファクター:7.4(2023)*）に掲載されましたのでお知らせいたします。

論文名：Long-Term (12-Month) Safety and Tolerability of STS101 (Dihydroergotamine Nasal Powder) in the Acute Treatment of Migraine: Data From the Phase 3 Open-Label ASCEND Study
掲載誌：CNS Drugs (2024)
筆頭筆者：Dr. Stewart J. Tepper, MD, FAHS（医師、米国頭痛学会フェロー）
The New England Institute for Neurology and Headache 所属
DOI：https://doi.org/10.1007/s40263-024-01118-8

詳細につきましては、Satsuma社ウェブサイトも併せてご覧ください。

以 上

【本件に関するお問い合わせ】
(株)新日本科学 IR広報統括部
TEL: 03－5565－6216
E-mail: ir@snbl.com